

# 3月 高原だより



通巻217号

阿毘縁むらづくり協議会/阿毘縁自治会

## 阿毘縁のいい所ご紹介

### 解脱寺天井画について



解脱寺天上画は平成22年に作成され、同年11月に本堂に設置されました。落成式は翌平成23年4月です。制作されたのは和歌山県紀の川市在住の日本画家満田慧峰(みつだせいおう)画伯です。

解脱寺天上画は9体の龍神が描かれた畳65畳分の西日本最大級の大きさです。90枚のシナベニアで製作された合板に直接描かれています。絵具は金箔を膠で溶かしたものと墨、そして岩絵具です。

画名は「九頭龍神図」ですが込めたテーマは仏教用語の「輪廻転生」です。龍神が秋の彼岸中日に私たちの世界に降臨し、翌年の春の彼岸中日に天上界に帰っていく姿を描いています。つまり9体の龍神の姿はそれぞれではなく1体の龍神を9つの姿で顕しているということで、9体の龍神を描いている絵画としては他に類を見ないといわれています。

制作は解脱寺客殿を使用され制作状況を一般に公開していただきましたので、見学者に墨を磨ってもらい絵画に使用しています。また、一般公開に当時1校統合した日南小学校の全生徒206名が見学に来寺、画伯の計らいで一筆ずつ岩絵の具を認めています(一筆奉納)。画伯にとってはこの作品が一番大きなものでご自身のアトリエを出て制作された唯一となっています。画伯は当時両足を悪くされドクターストップもあったそうですが、それを押して制作を続けられました。

画伯はこの天上画制作の最後の筆(止筆)に龍神の逆鱗とされました。この逆鱗が入った画伯の龍神画は現在も解脱寺の天上画のみです。画伯のこの天上画に込められた強い想いを感じます。このような絵画が日南町の阿毘縁に存在することを不思議に感じます。

この天上画はご紹介した以外にも制作到る経緯や制作状況があります。また不思議なエピソードもありますので、辰年の今年拝観されて説明をお聞きなっては如何でしょうか。



# 生山駅・石見駅100周年記念

## チョコレート発売

阿毘縁のりんごを使用して記念チョコレート

「あびれのりんごショコラ」が出来上がり、1月30日

役場でお披露目会が行われました。



## 令和6年度 世帯数報告について

班長・自治会加入世帯数・配布物必要数の報告をお願いします。

町報や地域の回覧配布等重要な報告ですのでお忘れなくお願いします。

**提出期限：4月1日（月）**

提出先：阿毘縁地域振興センター（郵便受け可）

### 協議会活動報告

### これからの予定

#### 【2月】

- 16日 役員会
- 20日 選任委員会
- 23日 保健福祉部会

#### 【3月】

- 5日 選任委員会
- 15日 役員会
- 31日 会計監査

#### 【4月】

- 8日 定期総会

